

部下のアイデアには「イエス」が鉄則



PROFILE

かさい かずひこ
福岡ソフトバンクホークス株式会社
代表取締役社長（球団社長）兼オーナー代行

昭和34年 香川大学経済学部卒業
同 年 富士銀行（現・みずほコーポレート銀行）入行
平成 4年 同行副頭取
平成10年 安田信託銀行（現・みずほ信託銀行）
取締役会長
平成12年 ソフトバンク株式会社取締役
平成17年 福岡ソフトバンクホークス株式会社
代表取締役社長（球団社長）
兼オーナー代行



笠井氏の名も刻まれた優勝記念の勝利ダルマ。

2

011年11月20日、日本シリーズの最終戦で福岡ソフトバンクホークスが中日ドラゴンズに勝利し、悲願である日本一を手にしました。2005年に福岡ソフトバンクホークスとして球界に参入して7年目、この日を誰より待ち望んでいたのは、参入以来、球団社長兼オーナー代行を務めてきた笠井和彦氏ではないでしょうか？優勝後、新聞インタビューで「念願がかないました。監督以下、コーチ、選手全員で勝ちとった栄冠です」と感慨深げに答えています。

香川大学経済学部を卒業以後、40年以上金融業界で働いた後、ソフトバンク株式会社取締役に就任。2005年より、福岡ソフトバンクホークスの球団社長兼オーナー代行を務める笠井氏。意外にも、未知の領域である球団経営に不安を抱いていませんでした。「プロ野球の球団経営はシンプルです。売上とコストが明確だからです。売上は入場料、広告料、飲食料、グッズ収入の集積で、コストは主に人件費（選手・社員）と諸経費です」と話します。理路整然と話す姿に笠井氏の手腕を垣間見た気がしました。この論理的な思考は学生時代に培われたようです。

学生時代は論文が得意で、次のようなエピソードを教えてくださいました。文藝部の同人誌「印象」に寄稿を求められ、3年生の夏休みに、一歩も家の外に出ることなく「宮沢賢治試論」を書き上げて発表しました。すると、多く

の教授が高く評価し、ゼミの担当教授にいたっては「これを卒業論文として、優の成績を与えよう」と手放しの褒めようだったそうです。「ところが、そこでカッコつけようとして『ゼミの論文は別に書きます』と言ってしまったんです。結局、四苦八苦して卒論を書くことになったので、「なんで、あの時素直に受けなかったのかな」と思ったりもしましたね」と、笑いながら当時を振り返りました。

今シーズン、ヤフードームの入場者数は昨シーズンより15万人増の約230万人で、過去最多を記録しました。笠井氏は「やはり、チームが強いとファンの皆さんが球場に足を運んでくれます」と謙虚に話しますが、営業努力なしに達成できる数字ではありません。球団には約60人の営業スタッフがおり、ユニークなイベントを多数企画しています。たとえば、当日の入場者はもちろん、福岡市内のタクシー運転手や空港の航空会社スタッフにレプリカユニホームを配布し、街中をホークスで染める「鷹の祭典」や、女子高生限定でピンクのユニ

ホームを販売する「女子高生デー」などが有名です。アイデアの多くは球団社員が立案し、笠井氏が目を通しますが、提案に対して意見を述べる際の鉄則として「まずは「イエス」、社員のアイデアを否定することはしません」と話します。こうした風通しのいい社風が、ファンを魅了し続ける原動力になっているのでしょうか。

悲願の日本一を達成した笠井氏ですが、「読売ジャイアンツが持つV9の記録を超えるV10を目指します」と羽を休める様子はありません。さらに、「常勝軍団に加えて、健全な球団経営、地元可愛されるチームづくりも大切です。九州全域に山口、沖縄を含めたエリアで地盤を固め、引き続きさまざまなイベントの企画やインターネットと連動した新サービスの構想も練っていきたい」と意欲をのぞかせています。近年、経営に行き詰まる球団が少なくありませんが、福岡ソフトバンクホークスは笠井氏の情熱と経営手腕により、夢に向かってはばたき続けています。

福岡ソフトバンクホークス株式会社
代表取締役社長（球団社長）兼オーナー代行

笠井和彦

CORPORATE INFORMATION

福岡ソフトバンクホークス株式会社
福岡県福岡市中央区地行浜2丁目2番2号



東京都港区のソフトバンク本社ビル。東京湾に面し、25階の社員食堂からお台場までのパノラマビューを楽しめる。



パ・リーグ優勝、クライマックスシリーズ優勝、日本シリーズ優勝と3回続いた祝勝会。選手・スタッフ全員で喜び合った。



「鷹の祭典2011」チャンピオンブルー一色に染まったヤフードーム。